



令和2年11月発行(第33号)

令和2年度 秋号

## 1. 認知症疾患医療センターについて

令和2年12月より当院は認知症疾患医療センターとして認定とされることになりました。認知症疾患医療センターとは、認知症に関する診断・精神症状等への対応・専門医療相談などを行う医療機関です。かかりつけ医や介護事業所・自治体と連携し、地域の中で認知症の方やその家族に適切な専門医療を提供する役割を担います。

### ① 専門医療相談

本人・ご家族・介護事業所などからご相談を受け付けます。認知症に対する専門知識を有するスタッフが対応し、治療や介護についての相談に応じます。

### ② 鑑別診断と治療方針の決定

画像検査や血液検査・心理検査、専門医による問診等によって認知症の詳しい診断を行います。診断の結果に基づき本人や家族と相談の上、治療方針を決定します。病状に応じて日々の診療を行う近隣の医療機関の紹介や、その他関連機関と連携をはかり、介護や生活支援まで体制を整えます。

### ③ 行動・心理症状（BPSD）への対応

行動・心理症状（BPSD）がみられる場合、治療や入院の受け入れ、または対応可能な医療機関を確保する役割も担います。

### ④ 地域の関係機関との連携

地域の医療機関や地域包括支援センター・福祉事務所・保健所などと連絡・調整役を担っています。医療・介護・生活支援の体制をスムーズに構築するため、家族会などを含めネットワークづくりを行います。

### ⑤ 連絡協議会・研修会の開催、啓蒙活動

地域での連絡体制強化のため、「認知症疾患医療・介護連携協議会」を組織化し運営するほか、関連機関や医療従事者向けの研修を行います。

お近くの認知症疾患医療センターはインターネットで検索できます。また、お近くの地域包括支援センター・区役所にお問合せ下さい。

## 2. 高齢者のスキンケアについて

秋になり、急に寒くなり乾燥してきましたね。高齢者の皮膚は汗や皮脂の分泌の減少があり、乾燥しやすく、かゆみも生じます。日常のスキンケアについてまとめてみましたのでご参考下さい。

① 入浴時の注意：熱いお湯での入浴は乾燥を助長します。温度はぬるめにして保湿成分の入った入浴剤などを使用するののも一つの工夫です。洗浄時には強く擦らないようにします。

② 保湿剤の塗布：入浴後すぐに保湿力のあるのびのよいクリームを塗布します。毛の流れに沿って優しく押さえるように塗布します。

③ 皮膚を守る：高齢者の皮膚は薄く、打撲や摩擦で損傷しやすい状態です。特にむくみがある場合は皮膚が薄くなっているため注意が必要です。また、オムツ使用により蒸れが生じ皮膚がふやけた状態となります。撥水性クリームなどを塗布し皮膚を守ります。



### 3. 入院・外来受診のご案内

#### 【入院治療】

##### 一入院の対象となる方一

- ・認知症の周辺症状（徘徊、介護への抵抗、暴言など）でお困りの方
- ・上記の症状から施設やご自宅での生活にお困りの方
- ・ご家族の介護疲れ軽減の為に短期（2週間～1ヶ月程度）の入院を希望の方 等

かかりつけ医がいる場合は紹介状のご用意をお願いしております。

事前にお話を伺い、病状を確認の上、入院予約をお取りします。

##### 一入院費用一

○医療費1割負担の方…18～20万円前後/月

○医療費3割負担の方…25～26万円前後/月

（お持ちの限度額認定証等により入院費用には個人差がございます。

詳しくは直接お問い合わせ下さい。）

#### 【鑑別診断・通院治療】

問診、画像検査、認知機能検査等を行います。

専門医がご本人を診察し、鑑別診断の結果についてご説明し、

今後の治療方針を考えていきます。

<※MRI検査等、詳しい検査が必要な場合には、協力医療機関に検査の依頼をしております。>

一人ひとり丁寧に向き合うために、診察には十分な時間がかかります。

診療は【予約制】となっておりますので事前にお電話にてご連絡下さい。

（ご相談から1～2週間前後でご案内可能です。）

#### 【看護相談外来】

認知症専門の看護師が療養生活上の相談に応じます。

<例>

- ・認知症と診断された後に必要なこと。
- ・認知症の症状への対応
- ・日常生活を整えるケア
- ・介護について
- ・介護サービスの活用 等

外来日：平日のみ

9：45～12：30

相談時間：1回30分程度

費用：無料

#### 【お問い合わせ先】

地域医療連携室

担当：今野<sup>いまの</sup>・高橋<sup>たかはし</sup>

TEL045-360-8787

（代表番号になります。

初めての相談とお伝え下さい。）

### 4. 免疫アップレシピ

免疫力が低下するとウイルスや細菌に

対する抵抗力が弱くなります。

- ① 朝食欠食、野菜やたんぱく質が少ない。
  - ② 脂肪の多い魚や発酵食品を意識してとらない。
  - ③ やせてきている
  - ④ 口内炎になりやすい など
- よく風邪をひく方は栄養状態を確認しましょう！



#### サンマのねぎチーズ焼き巻き

材料（2人前）：サンマ小2尾 塩コショウ スライスチーズ  
大葉4枚 玉ねぎ1/3個 赤ピーマン 2/3個  
ガーリックパウダー

- ①サンマは三枚におろす。②長ネギは5cmの長さに縦4等分に切る。チーズは半分に切る。③ピーマン・玉ねぎは輪切りにする。
- ④まな板にサンマを皮を下にして置き、塩コショウ・チーズ・大葉長ネギの順にのせ、巻いてから楊枝で止める ⑤鉄板に③④を並べ野菜に塩コショウ・ガーリックパウダーをふりオープンで焼く。

入院患者様へのご面会は現在見合わせていただいております。皆様のご協力・ご理解を感謝致します。再開については未定ですが、決定次第ホームページ等でご案内いたします。よろしくお願い致します。

\*次号（冬号）は1月頃の発行を予定しています。

本たよりについてのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



特定医療法人社団鵬友会  
横浜ほうゆう病院

—認知症疾患専門病院—

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷 644-1

TEL：045-360-8787(代) FAX:045-360-8788

ホームページ：<http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>

地域医療連携室 担当：今野 高橋